

様式 A-1
(FY2022)

2022年 9月 22日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・実施責任者氏名: 山梨県立日川高等学校 秋山 岳巨
2. 講師氏名: Dr. Nurmila Sari
3. 講義補助者氏名: 前田 里子 様
4. 実施日時: 2022年9月22日 (木) 14:00 ~ 15:50
5. 参加生徒: 1 年生 36 人、 2 年生 35 人、(合計 71 人)
備考: SSH クラス所属の生徒
6. 講義題目: STUDIES ON DRUG Discovery FOR UNTREATED DISEASES
7. 講義概要:
8. 講義形式:
対面 ・ オンライン (どちらか選択ください。)
 - 1) 講義時間 90 分 質疑応答時間 20 分
 - 2) 講義方法 (例: プロジェクター使用による講義、実験・実習の有無など)
プロジェクターを使用した講義形式
 - 3) 事前学習
有 ・ 無 (どちらか選択ください。)
使用教材 講師から事前に提供されたパワーポイント資料や研究概要・キーワードに基づくワークシート
9. その他特筆すべき事項:

様式 A-4
(FY2022)

サイエンス・ダイアログ アンケート(参加校の先生)

この度は、本事業へのご参加ありがとうございました。今後の本事業の運営方法等の参考とするため、下記の内容にご回答ください。

1. 本事業に参加した理由を教えてください。
(英語による講義を通して、英語力向上への動機付けとする。
また、大学での研究そのものに対する意識を向上させる。)
2. 事前打ち合わせについて
コミュニケーション方法を教えてください。(複数回答可)
1) 2回以上面談 1回面談 メール 電話
 その他()
2) 直接講師と 講義補助者を介して 高校の英語教諭の協力
 その他()
打ち合わせ内容を教えてください。
(スケジュールの確認/生徒のレベルの共有/事前指導の有無とその内容)
3. 生徒は、講義における英語をどの程度理解できたと思いますか？
 理解できた。 ある程度理解できた。
 あまり理解できなかった。 全く理解できなかった。
4. 講義における研究関連についての説明の難易度はいかがでしたか？
 専門性が高く、難解だった。 ちょうど良かった。
 より専門的な内容を講義してほしかった。
5. 事前学習は行いましたか？
 行った(具体的な内容:講師から提供された研究概要とキーワードを読み取る。)
 行わなかった
6. 今回の講義は生徒にどのような効果があったと思いますか？
自身の英語力不足を痛感し、英語力向上のモチベーションを高めることができた。
最新の研究に触れるとともに、伝統的な医療の応用や医療倫理など、幅広く考えることができた。
インドネシアと日本の関わり合いなど、歴史的話も多くしていただき、視野を広めることができた。
7. 全体として、今回の講義はいかがでしたか？
 良かった 普通 良くなかった

良かった点、良くなかった点を具体的に教えてください。

難しい内容であったが、講師が大変上手に明るい雰囲気で行ってくれた。

難しい箇所は、表現を変え繰り返し説明してくれたことで理解することができた生徒が多い。

本校の問題となるが、生徒の英語基礎力が乏しい。

同じく本校の問題であるが、難易度が高いものにチャレンジしていく気概に乏しい。

8. 本事業について、お気づきの点や感想などがありましたら、お書きください。
毎年、お世話になっており、ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。
 9. 再度、本事業を活用したいと思いますか？
 是非活用したい 機会があれば活用したい 活用したくない
- *ご協力ありがとうございました。 日本学術振興会(JSPS)